



犬山市議会議員 玉置幸哉 活動報告

玉置ゆきや市民レター

玉置ゆきや 事務所
犬山市羽黒高橋郷 155-3
090-1094-8223
yukiya4356kusi@docomo.ne.

第38号 2024年12月30日

11月議会 一般質問

消防職員の免許取得について 質問

犬山市が保有する消防車両と必要な免許について問う。また、大型自動車免許の取得実績はいかがか、加えてその費用はどうなっているか。近隣市町の状況と当市の今後はどうするのか

回答

消防本部が所有する消防車両は、全部で24台、そのうち大型免許が必要な車両は4台、中型自動車免許が必要な車両は2台、準中型自動車免許が必要な車両は4台、普通自動車免許で乗れない車両は10台となります。

職員の大型自動車免許の取得実績は、消防職員数106人中、82人が自己負担で取得をしています。県内34の消防本部の中で全額公費負担しているのは、名古屋市と一宮市で反対に全額自己負担しているのは犬山市を含む8消防本部です。今後は、消防業務に必要な免許取得費用は次年度から一部公費負担できるように近隣市町の状況を調査し制度創設していきます。

また消防団の車両についても更新時にオートマチックかつ普通自動車免許対応の車両に順次切り替えていきます。



玉置の思い

業務上で必要になる免許、資格は一定の公費負担が必要だと思います。ただ、離職した場合は、個人の資格となるため全額公費負担は考えなければなりません。しかし、市民の生命、財産を守ってくれる消防隊員の負担が大きかったことは、もっと早くこのことに気づいてあげてればと思っています。

妊産婦タクシーチケットについて 質問

令和2年11月の一般質問で「経済的支援策としては、低体重児の出産における支援に限定せず、障害や難病等を抱え、出産時にサポートを必要とする方も含め、全体的な子育て支援施策を構築していく中で、総合的な支援ができないか研究していきたい」とありましたが、当市としてその後の議論や新たに取組まれた制度について教えて欲しい。

回答

玉置議員からの質問を受けて以降必要性は認識し、担当者レベルでの検討を行っていましたが、具体的な市独自の経済的支援策の立案には至ってません。

しかし、経済的支援として国は令和4年度から出産・子育て応援交付金事業を創設、当市においてもこの事業を活用し、妊娠時に5万円、出産後に5万円の給付を行い、経済的支援を実施しています。

裏面に続く



11月議会 一般質問

質問

当市は産婦人科が1軒しかないが妊産婦がどこで出産しているか答弁をお願いします。

回答

令和5年度実績としては対象者376人
市内の医療機関は103件 全体の27.4%
江南厚生病院や小牧市民病院など周産期母子医療センターは53件 全体の14.1%
周産期医療母子センターを除いた近隣の医療機関は146件 全体の38.8%
その他里帰り出産等による県内、県外の医療機関は74件 全体の19.7%

玉置の想い

令和5年度の実績で、市内は約30%、近隣市町の病院等は53%、里帰り等は20%、約半数の妊産婦さんは、自宅から離れた場所でお産せざるおえない状況。国の制度は、どこに住んでいても貰えるのです。小牧市の人口は犬山の3倍ですが5つの産婦人科がある。江南市も人口は犬山市より2万人多いだけだが5つの産婦人科あります。病院の数だけで考えてはいけないと思いますが、世帯収入が少ない若い世代が出産を考える一つの指標となり若い世代から当市が選ばれない理由の一つだと思います。だから移動に負担がかかるから私はタクシーの実費精算を後日するとか、妊産婦にタクシーチケットを配布したらと思います。

児育休退園の年齢拡大について 質問

令和2年度から育休退園の2歳児からとしましたが、それ以降は拡大せず、現状維持のままとなっている。年々、働くママが増えて保育ニーズの低年齢化しているが直近で何人が育休退園しているか。また0歳、1歳児の待機児童がいれば教えて欲しい。

回答

直近の2年間の育休退園人数は昨年度7人、今年度9人です。待機児童は、年度途中で0歳児12人、1歳児1人となっています。要因は保育士が確保できていないからです。

玉置の想い

待機児童0だと言っていた犬山市で二けたになっているのは驚きです。育休退園も多くなっており、その要因は保育士が不足しているから。

小牧市は市立の小規模保育園が28施設、公立も15施設あります。少子化は進んでいるが、それ以上に保育ニーズの低年齢化が進んでいる。しかし当市は保育士が確保できていない。それなら自前で保育士を確保できる民間に任せるべきと考えます。

質問

保育士の不足は過去から言われているが解消できていない、保育の低年齢化や育休退園の年齢拡大を進めて行くためにも、民間の小規模保育園の参入を促すべきと考えますがいかがか。

回答

当市の子育ての考えは、「人格形成の土台となる大切な時期であり、親子にとって一生に一度しかない短くて貴重な時間を少しでも長くとって欲しい」。しかし、市民ニーズにこたえるためには、民間の小規模保育園の設置も選択のひとつだと認識します。他の自治体、民間の事業者に取り組みし、研究していきます。



①名古屋市 妊婦のための
緊急時タクシー利用券

出産予定日が
令和5年1月1日以降の妊婦の方に、
緊急時に使えるタクシー券を
交付します



対象者
本市内に住所を有し、出産予定日が令和5年1月1日以降で、
母子健康手帳の交付を受けた妊婦の方

タクシー券について
●1回50円のタクシー券が20枚入りとなっています。
●対象券の交付は、母子健康手帳の交付を受けてから1月1日～2月末日までに
届期満額で郵送させていただきますので、受け取りに手数料は必要ありません。
●窓口は、市から届出を受け事業所となります。
●再交付はできませんのでお失敬ください。
●タクシー券は、各自治体と共同した名古屋市連合のタクシーで利用できます。
●乗車時に使用できるかどうかの確認が必要です。
●切り戻しはできませんのでご注意ください。

利用について
●緊急時にタクシーを利用し移動する際に使用できます。緊急時とは、下記のいずれかに該当する場合はです。
●出産のために病院、診療所及び助産所(以下「医療機関等」といいます。)を利用する時
●妊娠中または出産直後、体調不良で医療機関等を利用する時
●妊娠中または出産直後、外出先での体調不良で、自宅または実家等滞り先へ帰宅する時

問い合わせ先:名古屋市子ども青少年局子育て支援課
電話番号:052-972-3083 FAX 番号:052-972-4419